



TITLE:

雜錄

AUTHOR(S):

---

CITATION:

雜錄. 天界 1936, 16(179): 197-198

ISSUE DATE:

1936-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167171>

RIGHT:

## ダンロブ天文臺の竣成

本紙に屢々記したカナダのトロント大學附屬 Dunlop 天文臺は器械も建築も竣工して去1935年5月31日盛大なる落成式を舉げたといふ。此の大天文臺は口径(74吋)188 吋の反射鏡を有する英領第一のもので、故 David Dunlop 氏が生前から天文學を好んでゐた記念のため未亡人 Dunlop 夫人の意志により Toronto 大學に寄贈されたもので、設備は主として英國の Grubb 會社製である。臺長は70歳の Chant 博士、臺員は R. K. Young, Hogg, P. M. Millman 諸氏である。

當日の落成式は大學總長 C. Cody, 州知事 Bruce, 前總長 R. Falconer, 前首相 M. King, 寄附者 Dunlop 夫人, 前グリニチ天文臺長 F. Dyson, ビクトリア天文臺長 W. E. Harper 諸氏及び米國より H. D. Curtis, V. M. Slipher, H. Shapley 等の有名な天文臺長の臨席の下に行はれた。

大反射鏡は=ウコ1ク州 Corning 會社で作つた pyrex ガラスで、大ドームの中に納まり、尙ほ此の外に研究室と三つの小ドームを持ち、敷地160エーカーといふ廣さを有してゐる。場所は大學から遠くない Richmond Hill 上である。〔Nat. 3426〕

## 空間の物質

私は星をみるのが好きで、ひと頃は見る夢みな星に關係があつた。私は新星を發見した。ハッセルだと思ふ人から祝福も受けた。

或る時は私が光で、宇宙の大きさを測るために宇宙を何度も廻つてみたこともあつた。髮座から星雲をとつてきて、輝星のそばで觀測したこともあつた。ところで私は望遠鏡を持つてゐない。長い間肉眼で觀測を續け、天文學の書物の飛び読みや寫眞圖から星を知つてきた。

◆……或る晩天文臺にアンドロメダ大星雲を見に行つた。この星雲は天界の壯觀といはれ、螺旋狀で楕圓形で、素晴らしく美しく、印象的なものとして久しく私の憧れのなかにあつたゞけに、望遠鏡を覗いて全くがっかりした。感じ方によつては真中が心もち白く光つてゐたといふだけで、あとは肉

眼でみるのとあまり差のないものだつた。螺旋形には見えませんが一と係の人にきいたら、その人は笑ひながら、それは、アンドロメダ星雲の運動を十數時間も追ひかけて撮つた寫眞の印象を求めてゐるからだ、望遠鏡を覗いただけでは決して見える形ではないと教へられた。私は、この時ほど恥を覺えたことはない。そこから考へることは多かつた。私は星の運動を知つてゐた。しかしそれを忘却してゐたのだ。

◇……書物から得た知識といふものに屢々このやうな錯誤があり、現實と離れて平氣で居るといふ危険のあることを知つた。近い將來に私はきつと望遠鏡を手に入れよう。さうして今度こそ正確に星を觀測しようと貪慾に願つてゐる。一(富本一枝)一 (讀賣新聞)

### 去る1月9日の皆既月食觀測報告

(花山急報 194)

横濱市の森久保茂氏は 45mm 40倍の望遠鏡で、次の如く時刻を觀測。

食既：2時59分0秒、生光：3時21分20秒、復圓：4時50分35秒。

| 鍍 銀 料   |         |         |         |                 |
|---------|---------|---------|---------|-----------------|
| 口径      | 料金<br>円 | 割引<br>円 | 送料<br>円 |                 |
| 21cm 以下 | 4.00    | 3.20    | .50     | ◎鍍銀料は左の如く定めます   |
| 16 "    | 2.25    | 1.80    | .35     | ◎本會觀測部員は二割引致します |
| 13 "    | 1.75    | 1.40    | .30     | ◎送料は各自御負擔下さい。   |
| 11.5 "  | 1.25    | 1.00    | .28     | ◎包装は完全にして下さい。   |
| 9 "     | 1.00    | .80     | .28     |                 |

### 編輯だより

★天界は、有益なニュースを早く正しく知ると同時に、いつまでも保存して役に立つものにしたいと思ふ。従つて、徒らに宣傳に走り、或は極めて一部分の人の歡心を買ふ如き記事は掲載を遠慮したい。

★上の趣旨により投稿を求む。規定の原稿用紙を使用されたく、約何頁書きたいからと申込まれるなら差上げる。任意の用紙を使ふことは發行を後らせることになる。

★發行日を早くしたい。今のところ、先づ毎月20日を目標とする。やがて15日、或は10日にしたい。一(淡翠山人)一